



あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。

(ヨハネによる福音書8章32節)

You shall know the truth, and the truth shall make you free.(John 8:32)



九州学院創立110周年記念行事まもなく挙行!

11/12 特設サイト公開 11/19 記念式典・イベント(配信)

~ KG style fes "Say Hello" final オンラインで開催 ~

1911(明治44年)に開校した九州学院は、今年、創立110周年を迎えることができ、前号に記載しましたように、学院ではこの節目のときをおぼえる記念事業を、委員会を立ち上げて、準備を進めております。

当初の計画では11月19日(金)に熊本城ホールで記念式典(礼拝)を挙行する予定でしたが、昨年から続く新型コロナウイルスをうけて、会場をオンライン・メモリアル・チャペルに移し、オンラインで各教室に中継

11月12日(日)に熊本城ホールで記念式典(礼拝)を挙行する予定でしたが、昨年から続く新型コロナウイルスをうけて、会場をオンライン・メモリアル・チャペルに移し、オンラインで各教室に中継

11月19日(日)に熊本城ホールで記念式典(礼拝)を挙行する予定でしたが、昨年から続く新型コロナウイルスをうけて、会場をオンライン・メモリアル・チャペルに移し、オンラインで各教室に中継

するに変更しました。なお、式典の模様は特設サイト(www.kgonlinefes.com)でライブ配信される予定です。また、右記特設サイトでは当日16時(予定)から、学院卒業生によるオンラインフェス「セイ・ハロー」ファイナルおよびスペシャルコンテツの公開を予定しています。2018年に始まったフェス(九州学院創立110周年震災復興特別募金イベント)は今回が最終回となり、Skip the Chips「F

umiyall佐藤文哉さん(S67回卒)の皆さんによる、九学をテーマにしたオリジナル楽曲のPVが初公開されます。また、第1回のフェスにも出演された清水雅也さん(S62回卒)がスタジオから生演奏を届けていただきます。さらに、ゴリケンII町田健一朗さん(S44回卒)によるワンマンライブなど、充実した内容のフェスとさせていただきます。ぜひご覧いただけますようお願い申し上げます。

特設サイトは11月12日(日)10時に公開を開始し、「KGパフォーマンズ」と題した、在校生・在園児による元気を発信するパフォーマンス動画(事前収録)や各界で活躍中の卒業生からの110周年を祝うメッセージ動画を先行でご覧いただける

●本記事記載内容につきましては今後の状況その他の理由により変更となる場合がございます。

しかし、お言葉ですから

イエスは、二そこの舟が岸にあるのを御覧になった。漁師たちは、舟から上がって網を洗っていた。



—ルカによる福音書5章2節—
九州学院チャプレン・副院長 小副川 幸孝

新型コロナウイルスの感染拡大の波が次々と起こり、既に1年半が経過しました。この間、感染予防のために色々なことができなくなり、社会も学校も制約を受けての活動となって、疲弊しつつあります。なんとかできることを工夫しながら学校生活や社会生活を続けているのが現状です。如何せん、如何せん、と思いつつ日々を過ごしています。この時期に、私たちが何をしたらよいのか。

聖書は、夜通し働いても何の成果もあげることができなかった漁師たちの姿を伝えます。彼らは、何の成果も上げずに、がっかりして朝を迎えますが、次の漁のための備えとして網を洗います。漁師としてごく当たり前のことなのかもしれません。しかし、空しさを押し殺して、次のための準備をします。その準備の時にイエスと出会います。そして、イエスの教えを聞き、「(もう一度)沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなさい」という言葉を聞きます。彼らの専門的な知識や感覚からすれば、漁には不向きな時となり、何も捕れないことがわかっています。しかし、「お言葉ですから」とイエスの言葉を聞いて舟を漕ぎだし、漁をします。聖書は、その後、この漁師たちがイエスの弟子となったことを伝えます。

この聖書の出来事は、何もできない時に、何をすればよいかについて、大事なことを教えてくれているように思います。今すべきこと。それは明日のための備えを黙々とすることかもしれません。学院での学びの日々がそういう日々になればと願っています。



8月21日(土)、とどろきアリーナ(神奈川)で行われた全国中学校体育大会剣道競技男子団体戦で、中学校剣道部が4大会連続9度目の栄冠に輝きました。高校生の先輩に続き見事な優勝を飾りました。



高校は11部(剣道・柔道・空手道・自転車競技・陸上競技・水泳・バスケットボール・ハンドボール・チアダンス・書道・放送)、中学校は2部(剣道・柔道)が全国大会に出場しました。大会開催にご尽力いただいた関係各位をはじめ、困難のなか多大なるご支援ならびにご声援をいただきました皆さまに、あらためてここに厚く御礼申し上げます。

島襄(同志社大学創立者)の言葉です。大学設立趣意書の中で、中国の「管子」を引用してこう記しています。諺に曰く、一年の謀ごとは穀を植ゆるに在り、十年の謀ごとは木を植ゆるに在り、百年の謀ごとは人を植ゆるに在りと。蓋し、我が大学設立の如きは、実に一国百年の大計よりして止む可からざる事業なり。初代院長となる遠山参良は少年期、当時の熊本洋学校で学んだ後、開校間もない同志社英学校に移り、新島からキリスト教に基づく良心教育の薫陶を受けました。現在、同志社御所側の門をくぐると、そこには新島の筆跡で「良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起リ来ラン事ヲ」と書かれた石碑があります。創立者が大切に生きてきた良心教育の足跡を見ることができそうです。



九州学院は、今年創立110周年を迎えました。「教育は国家100年の計」と耳にすることがあります。この言葉を聞いて思い出されるのは、新しい出されるのは、

九州学院 院長 阿部 英樹

良心教育を継ぐ

九州学院 院長 阿部 英樹

九学同窓会だより

東京2020
オリンピックパラリンピック
九学同窓生が大活躍

世界的なコロナ禍の影響で一年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピックは、7月23日〜8月8日、8月24日〜9月5日にかけてそれぞれ順次開催されました。この一大イベントに多くの九州学院同窓生が



九学の先輩山下JOC会長から金メダルを授与される村上選手

横溝正史が乾信一郎(旧9回卒)に宛てた240通の書簡

九学OBの作家乾信一郎氏(旧中9回・1924年卒/本名上塚貞雄)に宛てた、推理作家の横溝正史氏の自筆書簡240通が昨年新たに見つかり話題となりましたが、この夏、くまもと文学・歴史館(熊本市中央区)で開かれた「没後40年 横溝正史展」でそれらが公開されました。

書簡が書かれたのは1949~1979年頃で、二人は戦中、戦後を通してお互いの文筆活動を支え合う、信頼し合う仲でした。

横溝氏は金田一耕助で知られる有名な人気作家ですが、トリックへのこだわりや「獄門島」で文体が変化した理由、「悪魔が来りて笛を吹く」の舞台裏などがその書簡の中で明かされています。乾氏は戦後「青いノート」「口の中の物語」などNHK連続放送劇の脚本を手がけ、ユーモア小説、動物小説を多く書き、探偵小説やミステリー小説などの翻訳も数多く手がけました。九州学院の敬愛寮の前身の学生寮を舞台にした小説「敬天寮の君主たち」は特に有名です。

横溝氏のまとまった書簡が見つかるのは国内では初めてで、「横溝の歩みのドキュメントのような書簡です。これだけの発見は事件」と横溝研究の第一人者、山口直孝・二松学舎大教授は話しています。



*写真*乾信一郎(左)、横溝正史(右) 1965年5月15日(くまもと文学・歴史館提供)

関わったことは特筆すべきことです。

何と言っても、日本オリンピック委員会(JOC)の会長として山下泰裕氏(S28回・名誉卒業生)が重責を担い、直前まで今年も開催が危ぶまれ、問題が山積する中で東京オリンピックを成功裏に終わらせることが出来たことはたいへん喜ばしいことです。

また、ヤクルトの村上宗隆選手(S70回)が「侍ジャパン」のチーム最年少21歳ながら全試合に8番・三塁で出場し、米国の決勝戦では値千金の本塁打を放ち日本の金メダルの立役者となり、表彰式で山下会長から村上選手にメダルが授与されたシーンは同窓生にとってはたいへん誇らしい話題となりました。藤本聖二A級審判員(S34回)は日本ボクシング連盟から技術役員に選ばれ、裏方として大会を支える貴重な



山下泰裕会長(S28)

働きをしました。

パラリンピックには車いす女子バスケットボールの日本代表として安尾笑選手(S64回)が出場しました。日本は高さスピードに勝る列強の外国チームを



村上宗隆選手(S70)



安尾笑選手(S64)

相手に大健闘し、メダルは逃したものの安尾選手の活躍もあり6位に入賞し、観る人に大

きな感動を与えました。

オリンピックの開催に先立ち、3月25日に福島を出発したリレーの聖火は、5月5日に熊本に入りました。その際、モスクワ五輪日本代表木庭浩一ボクシング部監督(S28回)、北京五輪銀メダリストの末續慎吾氏(S51回)の二人のオリンピック、パリコレのデザイナー

田山淳朗氏(S25回)を始め、松岡隆志氏(S34回)、三角雄介氏(S47回)、松本啓佑氏(S51回)、野村和矢氏(S58回)など7人の九学同窓生が聖火トーチを繋いだことは素晴らしいことです。なお、村上宗隆選手は東京五輪での活躍と入団2年目から熊本地震で被災した熊本城への寄付を続け復興を後押ししていることがたええられ

4人目となる「くまもと夢づくり賞」を受賞しました。これまでに、放送作家、脚本家の小山薫堂氏、2012年ロンドンパラリンピックのゴールボール女子金メダリスト浦田理恵氏、九州学院高校剣道部と米田敏郎監督が受賞している名譽ある賞です。

祝九州学院創立110周年
11月19日に記念式典

藤本聖二役員(S34)

コロナ禍の影響により今年も大同窓会をはじめ各地域の同窓会、学年、職域などの同窓会は殆ど開かれませんでした。九州学院創立110周年の記念式典は11月19日(金)九州学院プラウン・メモリアル・チャペルに少人数の参加者で開催されます。なお、記念祝賀会は中止となりました。11月12日から公開される特設ウェブサイト(www.kgonlines.com)で、卒業生等による音楽や漫才などで構成され



恒例の若手の会主管の九学チャペル成人式が今年もコロナ禍の影響で中止となったことは大変残念でした。現在、若手の会が来年の同成人式の開催についての話し合いをしています。熊本市主催の成人式は現在のところ開催が予定されていますので、今のところチャペル成人式は開催の方向ですが現在はまだ未定です。状況を鑑みながら後日決定次第ご報告いたします。

2022 チャペル成人式は後日決定

森崎五段(S64)が新肥後名人に

6月13日、将棋の第68期肥後名人戦(熊本日日新聞社主催)三番勝負の第2局がびびれず熊日会館で行われ、県アマ棋王の森崎盛一朗五段(S64回)が上田克美三段を破り肥後名人となりました。



森崎氏は先天性の難病「ウルリッヒ病」を患い車いすの生活をしながら九州学院時代には将棋の各大会で好成績を収め母校に大きく貢献しました。10年前の高校三年生の時に肥後名人へ初挑戦して以来の大きな目標を達成し「今は勝てたことが素直にうれしい」と喜びを語りました。

現在は呼吸を助けるマスクも必要となりましたが「次は全国大会で優勝することが目標。俯瞰して指す力を磨きたい」と抱負を語る姿は私たちに勇気と希望を与えます。今後のさらなる活躍を共に祈りましょう。

奨学生を励ます会を開催
今年も担当はお待ち帰りで

10月13日、2学期中間考査終了後、3号館ホールにおいて今年度の奨学生と給費生を励ます会が開催され、中高生(今年度は54人が有資格者)・同窓会役員をはじめ多くの学院関係者・教職員など約80名が出席しました。阿部院長、青山同窓会育英院長等の挨拶の後、昨年と同じようにコロナ感染拡大防止のために弁当だけが配布される簡素な会となりました。奨学生と給費生の奮起に期待します。

2022大同窓会懇親会の開催は未定

10月14日に開かれた同窓会拡大正副会長会において、来年の2022大同窓会総会懇親会の開催の可能性などについて話し合いを行いました。その結果、9月末をもって緊急事態宣

言・まん延防止等重点措置は解除されたとはいえ開催の準備開始の間際までもう少し様子を見る必要があるのではないかとということになりました。11月上旬に予定されている定例

同窓会常任幹事会で再度話し合いを行い、その後に決定されることとなります。追って同窓会のホームページ等で報告させていただきますので宜しくお願致します。

「制度の歴史」1981年、学院創立70周年を機に若手を中心に同窓会新制部会を結成。同部会の事業の一環として1983年に育英奨学生制度を制定。多くの同窓生からの基金を原資として事業を展

北朝鮮拉致被害者
松木薫氏(S24回)の救出を

松木氏は1980年スペイン留学中に拉致され、現在も北朝鮮に抑留。弟の信宏氏(S43回)が家族会で活動中。



「九学同窓会だより」
文責・小手川 勲

学友会活動成績 (5月6日～8月31日)

高校

空手道部

熊本県高校総体 (5月28日～30日)

- 1位 松川 怡雅(1年)
2位 本田 理貴(3年)
3位 野中 紗和(1年)

ポクシング部

熊本県高校総体 (5月28日～31日)

- 1位 宮本 徳水(3年)
2位 宮本 徳水(3年)
3位 宮本 徳水(3年)

水泳部

熊本県高校総体 (5月28日～29日)

- 1位 赤坂 暢花(3年)
2位 渡部 未(2年)
3位 渡部 未(2年)

柔道部

熊本県高校総体 (5月28日～30日)

- 1位 宮本 徳水(3年)
2位 宮本 徳水(3年)
3位 宮本 徳水(3年)

剣道部

熊本県高校総体 (5月28日～29日)

- 1位 宮本 徳水(3年)
2位 宮本 徳水(3年)
3位 宮本 徳水(3年)

ハンドボール部

熊本県高校総体 (5月31日)

- 1位 末永 英大(3年)
2位 末永 英大(3年)
3位 末永 英大(3年)

中学

野球部

熊本県中体連 (5月8日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

水泳部

熊本県中体連 (6月23日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

柔道部

熊本県中体連 (7月26日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

剣道部

熊本県中体連 (7月26日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

ハンドボール部

熊本県中体連 (7月26日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

英語部

熊本県中体連 (8月7日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

吹奏楽部

熊本県立劇場 (8月8日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

合奏部

熊本県立劇場 (8月8日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

器楽(個人)

熊本県立劇場 (8月8日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

放送部

熊本県立劇場 (8月8日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

女子陸上競技部

熊本県立劇場 (8月8日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

男子陸上競技部

熊本県立劇場 (8月8日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

女子陸上競技部

熊本県立劇場 (8月8日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

男子陸上競技部

熊本県立劇場 (8月8日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

女子陸上競技部

熊本県立劇場 (8月8日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

男子陸上競技部

熊本県立劇場 (8月8日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

女子陸上競技部

熊本県立劇場 (8月8日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)

男子陸上競技部

熊本県立劇場 (8月8日)

- 1位 熊本 貴文(2年)
2位 熊本 貴文(2年)
3位 熊本 貴文(2年)